

データベースのフィールドタイプ

ご存知でしたか?... フィールドタイプの選択肢を使って、データベーステーブル中のフィールドタイプを指定できます。

データベースのフィールドタイプを指定することで...

- 様々な用途に合わせて、データベーステーブル中のフィールドを使い分けることができます。
- 多くのフィールドタイプから選択できます。
- テーブルフィールドへのデータ入力に対して制限を設定できます。
- 他のフィールドを使った処理も可能です (数値処理、文字処理)。

ストリング (String) このフィールドでは文字を入力してテキストとして保存します。ストリングフィールドに入れた数値は計算には使えません。

ユニコード文字 (Unicode String) 2バイトのユニコードエンコーディングの文字を入れるフィールドです。このフィールドには、任意の言語や文字セットのテキストを入れることができます。

整数 (Integer) このフィールドには正負の整数を入れることができます。

浮動小数点 (Floating-point) このフィールドには小数点を持つ数値を入れることができます。

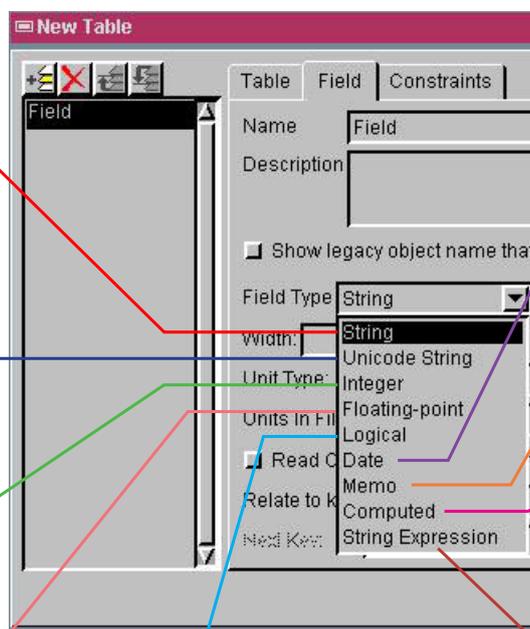
論理値 (Logical) このフィールドには "Yes" と "No" の2つの値が入ります。条件を満たす要素を識別できます。

日付 (Date) このフィールドには日付を5つの形式から選んで入力できます。表示用と入力用で形式の変更ができます。

メモ (Memo) ほぼ長さ制限のない文字フィールドを作成できます。

数値処理 (Computed) このフィールドは、数式を入力して値を計算させるために使います。数式では、同じテーブルや他のテーブルにあるフィールドが使えます。

文字処理 (String Expression) このフィールドでは、データベーステーブルの他の文字フィールドを使って、新規に文字フィールドを定義できます。



注意:フィールドタイプは、新規にフィールドを追加するとき以外変更できません。新規フィールドには、[フィールドの追加 (Add Field)] アイコンをクリックする時に選ばれていた作成済みフィールドと同じフィールドタイプが採用されます。

フィールドタイプを指定する方法

- データベーステーブルを表示して、[テーブル (Table)] メニューから [プロパティ (Properties)] を選択します。
- データベーステーブルで新規フィールドを作成します。
- <テーブルプロパティ (Table Properties)> ウィンドウで [フィールド (Field)] タブをクリックします。
- メニューから適切なフィールドタイプを選択します。



さらに知りたいことがあれば...

マイクロイメージのウェブサイトをご覧ください

